

# あなたの知らない！ CRF

## 第1回 トレーニングルーム

私たちはCRFで仕事をしているわけですが、普段あまり行かない場所って結構ありますよね。

せっかくなら（こいつ）（業務とはあまり関係ない）媒体があるので、この場を借りて普段あまり行くことのない場所をチェックしてみよう！...というのが、このコーナーの趣旨です！どうですか？実に「どうでもいい」ですよーそう、それこそがCRF通信の精神でありコンセプトです。

でも、どこかしらに興味を持ってくれる方もいるかも知れないので、ともかく話を進めてみましょう。

記念すべき第一回はトレーニングルームです！

トレーニングルーム...。トレーニングルームって言うんですけどっけ？どうだったかなあ...。ともかく、正式名称がすぐには思い出せないほどに普段あまり行かない場所です。入社時のオリエンテーション以来一回も行っていないという方もいるのでは？

ご存知のように、ちようかい前の密林（左写真）を抜ける



と、そのトレーニングルームがあります。



齊藤はトレーニング機器の良し悪しなんて分からないのですが、結構高そうな機械が並んでおります。高いお金を払ってスポーツジムに通わなくて

も、ここでそれなりに事足りる トレーニング器具がある一気がしなくもないです。

CRFには走友会もありまるのもまた特長。会社のシャワールーム、健康を気になさっている一室なんてみんなが使うから、方も多い感じなので、もしかしたら結構利用されてるんでは...というイメージがあったかねえ。トレーニングルーム。なのですが、どこいすごく綺麗そう。前に佐藤正樹SVがトレーニングのサークルを作ろうとしてました。当初器具の持ち込みが不可だった関係でサークル設立には至らなかつたとのことですが、できれば今後また設立を検討したいとのことでした。筋骨隆々を目指すあなた、是非佐藤正樹SVに一声かけてみてください。



今後暖かくなってきました、ぜひジムスペースを活用してみてください

今回は「仮眠室」でも行ってみようかなー、と思います。



# CRF通信

## 3月号

今月のこの人クローズアップ！満期継続チーム

## 森川 初美さん

とんでもなく問が開いてしまいました。知らんぷりして何事もなく始めます！CRF通信3月号です！そろそろ本年度も満期を迎えまして、来年度への継続手続きが必要ですね！なんて時期になってきました。ということ

みましました！  
齊藤が看護賠償業務をやっているときは満期継続チームのすぐ隣なので、業務の様子がちよつとだけ分かったりします。満期チームはアウトコールがあつたり、書類の用意をしたりで仕事盛りだくさん。常に先を見越した仕事が必要される部署のようになっています。加えて、ポイントで異動を受付する

のではなく、契約そのものの継続を担うという責任の重い部署です。比較的新しいチームですが、人員も増えてCRFの中核チームになりつつありますね。  
そんな満期チームの方にインタビューさせて頂けないでしょうか、と頼んだところ、森川さんが快く応じてくれました！

「おもしろい人」

今回、満期チームの誰かにインタビューをしたいなー、ということとは前々(半年前くらいです)から決めていたので、満期チームの方の大半は齊藤が面識の無い方です。だからこそ満期チームを選んだのですが、これでは誰に頼んだらいいのか分かりません。

分らないので、実際インタビューする段階になったとき鎌田SV、鈴木華代SVに「誰か面白い人にインタビューさせてください」と身もフタもないお願いをしたところ、即座に紹介されたのが森川さんでした。インタビューしてみると、実際森川さんはユーモアがあるだけでなく、終始笑顔で、受け答えも相手を非常に心地よくさせるという、…まあ偉そうな言い方をしますが、「よくできた方」でした。  
それではインタビュー内容、いつてみましょう

### Q1.好きな音楽を教えてください！

最近の歌はまったくわかりません。すべて子供中心のため、アンパンマンの歌などを聞いています。

### Q2.好きな本・マンガを教えてください！

子供が中心でなかなか時間がないのですが、最近「夢をかなえるゾウ」をようやく読破しました。

### Q3.その他好きなものをなんでも教えてください！

最近はやりの“えこ”=ECOにはまっています！不要なものを必要なものに換えることが楽しく、好きです。CRFのサークル活動で昔むかしのセーターがエコタワシになりました！

### Q4.昨日の晩御飯のおかずは何ですか？

安くてボリュームのある“豚丼”でした。

### Q5.宝くじで1,000万円が当たりました。何に使いますか？

昨年新築したお家の2階部分にあてます！残り1階は35年かけてコツコツ返します！

### Q6.カーBOXの、別居の未婚の子の補償についてどう思いますか？10文字以内で教えてください！

早く育ってほしい！！ 離れた子への親心

## 二児の母！

アンケートの回答を拝見すると、違う筆跡で同じ内容の文があるのですが…

「鎌田さんに校正してもらいました（笑）」

鎌田さんの校正で、「最近の歌はまったく分らない」ことになったんですね（笑）

「でも、本当にそのとおりなんですよ」

子供中心、とのことですが、お子様は何歳ですか？

「上の子が2月で5歳になりました。下の子は今2歳、この3/28に3歳になります。その子たちに合わせるから、歌といえばアンパンマンとかプリキュアとか。新しく『コセイジャー』っていうのが始まったんですよ」

…（ほほび）

「ちょっと前までは『シンケンジャー』だったんですけど。最近変わったんです。新しいテーマ曲はまだ覚えてないんですけど。プリキュアも」の前

新しくなって。すぐに変わるから覚えるのが大変です」

あ、齊藤の友人にもいます。子供のために必死で覚えている人と、完全に自分の趣味で覚えている人と。お子様は、いわゆる「お嬢様」ですか？「ご息様」ですか？

「お姉ちゃんも弟、ですね。下の子はCRFに入ってからで来た子で、実はCRFで初めて『産休』を取ったのは私なんです。よ。トップバッターですね（笑）」



## 夢をかなえるゾウ

一応インタビュー相手の趣味・嗜好を探るのも新聞の趣旨なんですけど、「夢をかなえるゾウ」、ですか？齊藤は知らないのですが…。



夢をかなえるゾウ

「ちょっと話題になった本ですね。小栗旬が出演してドラマになったりもしました。新聞の広告欄にも『これは面白い』なんて出てましたよ（笑）。ゾウがひとつずつ課題を出しているって、色々な偉人さんの成功例を挙げたりしつつ、その課題を解いていくんです。ガネーシャっていうゾウなんですけど、関西弁で喋るので面白いんです」

…というわけで、齊藤も入手してみました。夢をかなえるゾウ。この記事を書き終わるまでに読むことができなかったのですが、そのうちCRF文庫に置いておきます。

## エコグッツ講習

さて、アンケートの際に「CRFのみんなに勧めたいもの、最近ハマっているもの」を伺ってましたが、エコグッツ講習とは、鎌田SV主催のサークル活動ですね？

「そうですね。鎌田さんの教え方が上手かったし、いらなくなつたものから普段の生活で使えるようなものができるっていうのがすごいし、みんなが集まって和気あいあいとおしゃべりをしながらやるので（笑）とっても楽しいですよ。そうだ、何ならどんなことをしているのかお見せするので、取材してみてください」



…ということで、無理を言っ  
て臨時に開催してもらいま  
した！エコグッツ講習！

「前回の講習のときは、鎌田さんが『こつこつものを作ろう』って考えてきてくださったんですけど、私たちの技術レベルがその水準に達してなくて（笑）。でも鎌田さんが『だつたらまずこつこつものを作ろう』というところで、その場で私たちにできるような、別のものを提示してくれたんです。手芸関係の技術が全然なくても、鎌田さんがそれぞれの技量に合ったことを教えてくれるのでよかったです」



これがその、前回の講習で鎌田さんがさささつ、と作ったというぬいぐるみくんと、森川さんのアンケートにもちよつと出たエコタワシです。齊藤、手芸はまったくてできないので、出来上がったものを実際に目にして、一体何をどのようにして出来たのか皆目見当がつきません。そもそも、いつ

いうのって店に売ってるのになして出来たのか皆目見当がさて、最後に満期チームには見たことがあります、素つかない」ということを書きまいたが、少し訂正します。作るしてもらえますか？アウトあ過程を見ても、さっぱり分かりりインあり、事務作業ありと

「鎌田さんはこういう小物の仕事でもなさっていたのかお伺いしたところ、別にそういう訳ではないとのこと。CRFは大変なこともありませうけど、基本的にみんな楽しんでやって

際、今回鎌田さんと満期チームの方が毛糸を編んだりするのを見せてもらいましたが、

むむむ…。

すごい。さっき「出来上がったものを目にしても、どのよう



エコグッズ講習はQCサークル活動があったり繁忙期に入ったりでちよつとお休みしていましたが、また頃合を見て開催する予定とのこと。興味のある方は是非、満期チーム鎌田SVまでどうぞ

「そうですね。確かに色々あるか決めるとか、インバウンドの時にSSVに協力してもらうとか、チームプレイが基本なんです。だからお互いにコミュニケーションを取って、チームワークを大切にして業務に取り組んでいますよ」

確かに、連携が重要視される部署のようです。エコグッズ講習の雰囲気を見る限り、チームの結束も固いようです。今後業務の拡大が予想される満期チーム、是非頑張ってください。森川さん、お忙しい中何度も時間を割いてくださってありがとうございます！



インタビューをしてみた森川さんは「プライベートも仕事も全力でやります！」というポイントがこちらにひしひしと伝わってくる方でした。たぶんこういう方を見て、世間の人はその生き様を「素敵な人生」とか呼んだりするのでしょうか。お子様方もこれから成長が楽しみな時期ですね。今後もご活躍を期待します。

改めて森川初美さん、そして満期チームのみなさんありがとうございました！

## センター長の ひとりごと



2月中旬、秋田の「冬まつり巡り」をしてきました。

熱気球のような大きな大きな紙風船が、音もなく静かに夜空に舞いあがっていく、幻想的な、西木町の「紙風船まつり」。

氷点下の男鹿 真山神社境内で大きな炎を上げる「紫灯」と、少しやさしげななまはげ「達」

たくさん、シャッターを押してきましたが、特に、印象に残っているのが、横手市二葉町地区の「かまくら」の中のワンシーンです。

水神様の前に、ちょこんと座っている男の子三人。その中の一番小さな男の子が、「蛍の光、流れてるよね？」と、

お兄ちゃんたちに確認しています。

午後9時に流れる「蛍の

光」は、おまつり終了の合図。

夕方、5時半から座っていた「かまくら」の中から、ようやく、解放です。でも、お兄ちゃん達は、片づけを始めません。「かまくら」の中に、

まだ、お客様がいるからです。男の子のホッとした「笑顔」が、すーっと消えていきます。その姿が、いつまでも忘れられません。

秋田のひとは、商売が上手

くない、と言われています。確かに、どのお祭りに行っても、商売っ気は、ひかえ気味です。

一方で、「お祭りを楽しんで行ってください」という、気持は、思いつきり伝わってきます。

秋田の「おもてなしの心」は、

「かまくら」の中にいた、あの男の子達のように、小さい時から鍛え上げられている筋金入りです。

「入ってたんせ」「あがつてたんせ」には、「日本一、ピンボーな秋田。でも、日本一、心が豊かになれる秋田」の気持ち、しっかりと込められている、と思った瞬間です。



## 編集 後記



この新聞に関わる作業をやっていると、よくそんなことやるねー、という類のことを言われます。

まあ確かに、これによって何かの利益を得ているわけでもない、ハタ目から見れば自己犠牲的な慈善活動に見えるのかもしれない。実際、職場に貢献しようという意図が無くはないですが、どっちかという趣味としてやっている部分が大きいです。

昔っから出版物には興味があつたんですね。中学生のころは学級新聞みたいなものを勝手に書いていたこともあるし、古本屋に勤めていた時期は販売促進のポップを作ったり、スタッフコラムを書いて貼ったりしたものです。懐かしいなあ。

しかし、そんな回顧録はどうでもいいのですよ。

「やりたい」「こと」「やる」ことはイコールではない、と思ひ知りましたね。

いくら「やりたい」ことであつても、それが出来てないなら「やりたい」「やりたくない」はあまり関係のないことですね。「ボランティアをして、人の役に立ちたいんだ！」と言っている人はまあ立派ですが、結局実際には何もやらないのなら、はじめから何も言わない方がまだマシってものです。

今回、CRF通信の発行が遅れた件に関してはまさにそれかなー、と思ひましたね。ああー、齊藤は口ばかりでカツコ悪いぞ今！なんて。でも、ここで終わる齊藤ではないです。ちょっと方法論を検討して、次は4/15日の発行を目指しますよん 新4月生も入ってきますし、頑張らなくてはね。